

# W A K O C I R C L E



## CONTENTS

- 新入生へのメッセージ
- 障がいのある学生と共に学ぶ
- Club Activities (和光RAVE!!)
- 和光はてな見聞録/伝書ばとん
- 授業アンケート結果
- Campus Snap
- MY CHOICE (制野俊弘先生)

和光大学通信

140

2017/04/01



# CONTENTS

WAKO CIRCLE NO.140  
2017/04/01

## 新入生へのメッセージ



自分を信じて、自分の道を進め！  
学長 伊東 達夫

君たちは大学生です。大学生として与えられた時間を有効に使いましょう。大学生の本質は、自由であることです。そして君たちには、自由であることを全うする責任があります。

サークル活動で汗を流す、社会に出てボランティア活動をする、図書・情報館にこもって読書三昧の時間を過ごすなど、どのように使おうと自由です。自分の思うところに従って行動しましょう。

言い換えれば、自由とは、自分の信じる道に正面から向き合うことです。それができない大学生に、大学生を名乗る資格はありません。自分を信じて、自分の道を進みましょう。

- 02 新入生へのメッセージ
- 03 障がいのある学生と共に学ぶ
- 05 Club Activities (和光RAVE!!)
- 06 和光はてな見聞録(ホワイトギャラリー)  
伝書ばとん(総合文化学科 菊池寛太さん)
- 07 Campus Snap (2017年チャレンジしたいことは?)
- 08 授業アンケート結果
- 09 学生スタッフ募集
- 11 Campus Information
- 13 新任教員の紹介・退職される教員の紹介
- 14 MY CHOICE (制野俊弘先生)
- 15 OUR NEIGHBORS (麻生市民館岡上分館 小林巧さん)



キャンパスを歩こう  
副学長 加藤 三由紀

こんもりとした丘にある和光大学は、不思議な空間です。同じ平面にあっても建物によってそこが2階だったり3階だったりします。そんなキャンパスをゆっくり歩いてみてください。思わぬ所に掲示板を発見し、学生たちや地域の方々からのお知らせが目かとまるかもしれません。また、屋外での授業やサークル活動の現場に出くわすこともあるでしょう。このキャンパスで、あなたの世界を広げる出会いがありますように。



自分に投資する  
副学長 樋口 弘夫

大学生活には、自由な時間がたくさんあります。その時間をただ消費するだけでなく、自分に投資することを意識してはどうでしょう。関心の無かった問題に取って挑戦してみる授業。好きなことにとことんめり込むクラブ・サークル活動。新しい風景、習慣、人と出会うための旅。積極的な社会参加で自分をみつめるボランティア活動。相手の気持ちを思いやり、挫折を味わう恋愛。必ずしも成果や結果を伴わない時間か、無駄にならず自分の成長の糧になる。

和光大学はそのための場所を用意しています。ご入学おめでとうございます。



表現学部長  
松枝 到



現代人間学部長  
伊藤 武彦



大学院  
総合文化研究科委員長  
岩間 剛一



経済経営学部長  
半谷 俊彦

# 障がいのある学生と共に学ぶ

和光大学は、学生の多様性や自由・自律を大切にしています。その特徴を現す一例として、本学には、様々なハンディキャップを持つ学生が一般の学生と共に学んでいます。今回は障がいを持ちながらも前向きに学んでいる学生と、障がいを持つ学生の学びをサポートしている学生からお話を伺い、それぞれの現在の取り組みや思いを紹介していきます。



## 始めた理由

高校は情報科だったので、そこで培ったタイピングのスキルを活かせると思ったし、自分とは違った環境下にある学生と関わることができる。それと報酬もあるので、授業の空き時間で稼げるのも嬉しいです。



ひがしうら のぶき  
**東浦 伸輝さん**  
総合文化学科 2年生

昨年からノートテイク※を実践。  
さらに情報保障団※に所属  
(※それぞれの詳細は P9 ~ 10  
学生スタッフ募集をご確認ください)

## 実践ポイント

利用者さんに分かりやすく伝えるために、文章を要約して伝える工夫をしています。そのためノートテイクは**先生の話のポイントをまとめる力が付きますね。**

### ノートテイクをやっている良かったこと

- 文章を短くまとめる力を養える。
- 授業の空き時間など大学内でお金を稼げる。
- タイピングのスキルを高められる。
- ダイレクトに感謝される。他者の役に立つことができる。
- 相手の状況を考えた行動が求められるので、視野が広がり、コミュニケーション能力が高まる。
- 今までと違う環境に触れ、考え方が柔軟になる。
- 取っていない授業に出て学ぶことができる。

さかうえ みゆき  
**坂上 幸さん**  
総合文化学科 4年生

全身に麻痺があり歩行が困難なため電動車イスを活用している。また視力も良くないので授業では板書が見えづらい。最初の授業で先生に状況を伝えておくと授業中に配慮してもらえるので学びやすくなる。同じ授業を取っている周りの学生も、次第に車イスで出入りしやすいよう通路を確保してくれたり、ノートを取ってくれたりする。授業では、友人たちとわからなかった部分をお互いに教えあったりしている。



中学校と盲学校だったので人が少なく、大学は一般のところに進学したい気持ちが強かったので、大学で世界が広がったみたいです。今は大学へ友達に会いに来ている感じです。

電動なので押してもらう必要はなく、学内の移動は一人で可能。しかし、食堂や普段行かない所に行く時などは友人のサポートがとても重要。

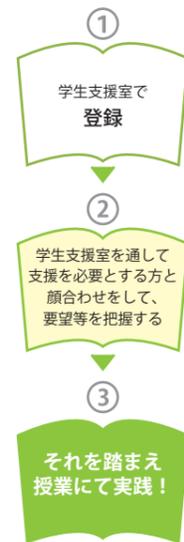
## コミュニケーション

伝えたい時は、肩を叩いたり、相手の正面に回ってまずは合図をしています。また、ノートテイクがあるのでないのでは授業の理解度が変わってくるそうで、手話でありがとうとか伝えてくれます。



挑戦する意欲のある人は是非、学生支援室まで。**パソコンに慣れていなくても情報保障団が練習プログラムを用意しています、サポートします！**

## ノートテイクへの道



彼女は1年の時から友達作りに力を入れ、そのおかげで大学には多くの友達がいる。



私は別に特別なわけではない、**気を遣わずに声をかけてもらいたいです。**視力もよくないので自分で誰かをみつけることも難しいから、積極的に声をかけてもらいたい。

「私も目の見えない人を見つけたら車イスの後ろに連れて案内しています。」

坂上さんは友人たちを中心に周りの方々のサポートに感謝している一方、自分も相手の役に立ちたいという気持ちを持っている。そういった積極性も大切にして、大学生活を楽しく過ごしている。

## 最後に

二人の話聞いてまとめてきた私も視覚に障がいを持つ学生です。両目とも見えていないので移動は特に大変です。そういう時に友達が助けてくれますが、友達以外あまり声をかけてくれない時もあります。私たちは助けが必要なことがありますけど、助けてくれた人が友達になったりします。声をかけてくれて嬉しくない人なんていないですし、みんな友達になってもらいたって思っています。今回、このページを読んだことで、さまざまな立場や考えを持つ学生が集うこの大学の中で、多様性を受け入れ、さまざまなことにチャレンジしていくきっかけにしてほしいと思います。

(文=村竹)

## 共に学んでいくために今からできること

### ①障がいを持つ人の立場で考えてみる。

周りの状況を、ハンディキャップを持った方の視点で見直してみると、今まで見えなかったものが見えてくる。例えば、車イスの方は、机の下のイスを引き出し、車イスが入る場所を空けてもらうだけでも嬉しい。

### ②気がついたら行動する。

何かサポート出来ることに気がついたら一歩踏み出してみよう。誰かがやると思って遠慮せず、自らやってみることで新しい出会いや発見に繋がることもある。障がいを持つ方は迷惑をかけてしまうと考え遠慮してしまうことがあるので、気づいた時は率先して行動してほしい。

## サポートする際にお願いしたいこと

### ①相手の状況を考えて行動すること。

例えば、視覚障がいのある方を助けようとしていきなり手を取ることは、見えていない人にとっては恐怖である。サポートしてくれることは嬉しいが、見えていない方には、まず声をかけるなど、自分とは違う状況であることを理解して行動してほしい。

### ②コミュニケーションを大切に

様々な事情で、意思疎通に時間がかかることもあるけれど、寛大な心で粘り強くコミュニケーションを取ってもらえると嬉しい。そのように困難な状況を克服し意思の疎通を図ることは、多様性への対応が求められる社会に出た時に必ず役に立つはずで、自分自身のためにも積極的に取り組んでほしい。

# 和光はてな？見聞録

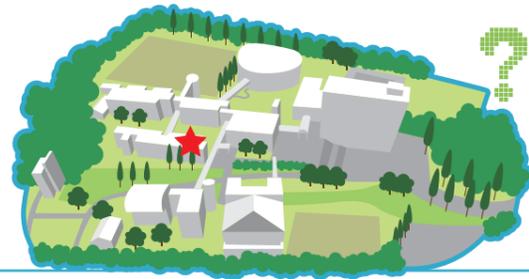
普段の学生生活ではなかなか知ることのできないモノや場所を調査し、光を当てていく連載企画。

## 第10回 「ホワイトギャラリー」

大学内に和光大生なら誰でも気軽に使えるギャラリー（展示スペース）があるのをご存じだろうか。それはG棟の2階にあるホワイトギャラリーと呼ばれるスペースで、絵画・写真・立体・映像等、制作した作品を自由に展示することが可能である。今回、そんなホワイトギャラリーの概要や活用方法などを紹介させていただく。

ホワイトギャラリーは、四方を白い壁で囲まれた8畳ほどの小さいスペースだが、照明や暗幕などを活用することで、部屋全体を展示スペースとすることができる。現在、芸術学科の学生を中心に様々な個人・団体が活用しているが、芸術学科生以外でも利用することは可能である。

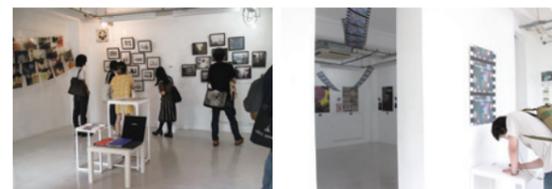
使用するには、A棟8階の芸術学科資料室にてスケジュールの確認や申込手続きを行うことが必要となる。利用期間は月～土曜日の6日間が基本で、使用最終日には元の状態に戻すことが求められる。貼ったテープをはがしたり、開けた穴はパテで埋め、壁面に直接描いたものは白ペンキで塗り直さ



なければならぬ。小さいながらも自由に活用できるスペースなので、何かを表現したい人は利用を検討してみて欲しい。<申込方法と使用上の注意については芸術学科サイト(※)まで>

また、ホワイトギャラリーは、展示がなされている時間であれば自由に観に行くことができる。一般の方も観に来ることがあるそうだ。今まで観に行ったことがない方、存在を知らなかった方も一度ぜひ行ってみたいはいかがだろうか。感性が磨かれたり、新しい発見があったり、未来の巨匠に出会う場となるかもしれない。

※和光大学芸術学科サイト <http://www.wako.ac.jp/art/i/> (文=藤巻)



毎回共通の質問を投げかけ、先生から学生へ、学生から先生へとバトンをつないでいく連載企画。

# 伝書ばとん

「今一番アツくなれるものは何ですか？」



総合文化学科 菊池 寛太 さん

菊池さんは生け花を二つの活動に分けて取り組んでいる。ご自身ではそれを「表」「開かれた活動」と「裏」「閉じられた活動」と表現している。表である「開かれた活動」では、展覧会に出品したり、学外の小学生や障がい者に生け花を教えたりすることを中心に行っている。

それでは、裏である「閉じられた活動」とはいったいどんなものだろうか。菊池さんが今もっとも熱くなっていることを語ってもらった。

「閉じられた活動」は大学内のサークル、「フォークソング連合」を主な拠点として、生け花をライブパフォーマンスのように音楽に乗せて観客に見せるという芸術活動だ。それも、まずは普通に花を生けたあと、なんとその花を「破壊する」というパフォーマンスをご自身で編み出したとのこと。



いかに花を美しく見せるかといういわゆる生け花とは真逆のアプローチでの演出である。

菊池さんがこのようなパフォーマンスを思いついたのは去年の春のこと。生まれてから向き合い続けていた自分の生け花に自信を持つようになり、そこで新たなパフォーマンスに挑戦したという。以前から未来派の作品の影響を強く受けている中で、何かを作り出してみたいという願望がぼんやりと浮かんでいたとのことだが、それがはっきりと具現化し、現在のオリジナルパフォーマンスに直接つなげることができるイメージを感じたのは、多くの著名な先生方と合同作品を完成させた高知県での花回廊後だということだ。その計り知れないインパクトを持つ「破壊」のパフォーマンスは今まで大学内で3回上演し、これからも更なるパフォーマンスの追求を続けていきたいと話してくれた。日本の伝統的な華道の道を、自らのアイディアと行動で切り開いていく菊池寛太さん。これからもその独自のパフォーマンスの進化が楽しみである。

菊池さんが次にばとんを繋ぐのは現代社会学科の杉浦先生。次回もお楽しみに！

(文=群馬)



Club Activities

WAKORAVE

こんにちは！私たちはDJサークル「和光Rave!!」です。

和光Rave!!は、和光大学唯一のDJサークルです。DJにあまり馴染みがない方も多いと思うので軽く説明させて頂きますとDJとはdisk jokeyの略称でさまざまな音楽を音量、音程、ループを駆使して連続でつなげたり、二つの曲を合わせてクラブを盛り上げる人の事です。

和光Rave!!では、常にジャンルに囚われず自由に好きな音楽でDJを楽しんで活動を行っています。DJはHIPHOPのイメージが強く、レコードを回してキュッキュするイメージが強いですが、実はジャンルによる垣根がなくHIPHOPはもちろん、海外で大流行、日本でも人気の波が来ているEDMをはじめとしたクラブミュージック(その他Dubstep、House、Techno、Trap、Hardcore等)、音ゲーやアニソンでもDJする事が可能(世の中には演歌でDJする人もいらっしゃいます・・・)なので非常に多様性に富んでおり、自由です。

和光Rave!!にはいろいろな音楽好きがいます。サークルに入ることによってDJをしたり、音楽を聴いていくにつ

れて音楽に対する見方が変わったり、クラブに行ったりすることで新たな楽しみ方を見出すことができます。皆さまも是非一度和光Rave!!に遊びに来てください！

大音量で聴く音楽は最高ですよ！

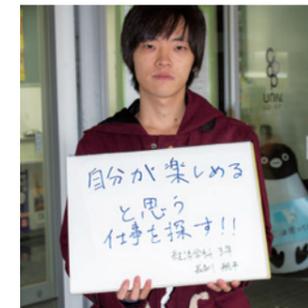
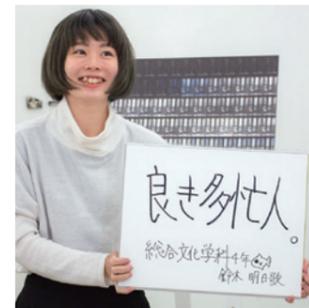
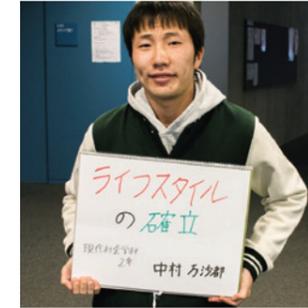
主な活動内容は毎週木曜日にDJ練習を行っています。その他都合が良ければ何時でも好きに練習しても大丈夫です。またクラブを貸し切ったイベント開催、学祭でのイベント開催も行っています！なお個人のDJとしてイベントに出演したり、他大学のDJサークルと共にイベントを主催で開催しているメンバーもいます！自分のDJでフロアを盛り上げた時の爽快感は格別です！

何かわからないことがあれば先輩たちが優しく丁寧に教えてくれるので安心してください。1年生に限らず、2年生3年生どなたでも大歓迎です！お待ちしております。

和光RAVE!!代表

谷崎 光一朗(経済学科3年)

# Campus Snap



## 2016年度前期 授業アンケート結果

和光大学が6〜7月に実施した2016年度前期授業アンケート集計結果がまとまりました。このアンケートは、和光大学自己点検・自己評価委員会が実施するもので、和光大学の教育の現状を把握し、授業改善につなげていくものです。

個別のアンケート結果は、それぞれの授業を担当する教員に報告し、授業の改善に役立てるよう依頼しています。また、全体の集計結果を分析して、和光大学の教育のより一層の充実をはかります。

### 《実施日程・調査方法》

アンケートの実施期間は、6月27日(月)〜7月2日(土)の1週間でした(一部の科目では1週間前や1週間後に実施しました)。対象とした科目は、大学院科目・集中講義科目を除いたすべての開講科目です。ただし、通年科目、前期・後期連続して受講する科目については後期に実施しました。

調査の方法は、教室内で教員が学生に直接配付・回収し、教員が収集窓口へ提出する形式です。アンケート用紙はマークシート方式です。学生本人の所属学部学科と3つの項目について回答を求めました。項目Iは出席状況について1問、項目IIは授業の内容や形態について8問、項目IIIは授業の改善点について1問(複数回答可)でした。

### 《集計方法》

提出されたアンケート用紙をコンピュータで集計し、大学全体のほか、科目ごと・学科

ごと・課程区分ごとの結果を集計しました。

### 《アンケート回収率》\*小数点第2位以下四捨五入

対象者数	21297名
有効回答者数	11677名
回収率	54.8%
前年度回収率	53.7%
(回収率II有効回答者数/対象数)	
対象科目数	475科目
実施科目数	427科目
実施率	89.9%
前年度実施率	91.8%
(実施率II実施科目数/対象科目数)	

### 《総評》

集計結果を見ると、全体として評価が高いのはII-1「授業内容の周知」、II-2「教材等の準備」、II-4「教員の熱意」といった要素でした。一方で項目IIIでは「もっと分かりやすく説明してほしい」「もっといいねいに板書をしてほしい」「もっと理解しやすい教科書や資料を使ってほしい」などの回答が多く、授業内容の理解度を向上させるために、板書や資料の改善に慎重に取り組む必要があると考えます。

この結果を受け、引き続き大学として授業の改善方法を検討していきます。学生の皆さんには本年度も引き続きアンケートを実施しますので、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

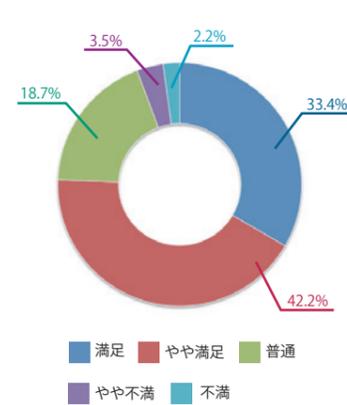
また、後期のアンケート結果は大学ホームページにて公開しています。

担当 企画係

## 全体の集計結果

項目	すべて出席した	1〜2回欠席した	3分の2程度出席した	3分の1程度出席した	ほとんど出席しなかった
I-1 この授業を、これまでにどのくらい出席しましたか?	39.1	41.5	17.0	2.0	0.4
II-1 講義要目やオリエンテーションは、この授業の内容を正しく伝えていた	35.1	50.3	12.2	1.5	0.9
II-2 この授業では、適切な教材・機材・資料などが準備されていた	37.1	46.6	13.1	2.3	0.9
II-3 この授業で教員は学生とコミュニケーションを積極的にとろうとしていた	32.0	38.8	22.2	5.2	1.9
II-4 授業準備や話し方を通じ、この授業に対する教員の熱意を感じた	37.7	43.1	15.4	2.7	1.1
II-5 この授業のために、授業時間のほかに自分で予習や復習をした	17.8	27.6	31.6	14.5	8.5
II-6 この授業の内容をじゅうぶんに理解できた	23.3	42.5	26.2	6.0	2.0
II-7 この授業を受けて好奇心が刺激され学習の意欲がわいた	26.9	38.5	25.4	6.2	3.0
II-8 総合的に判断して、この授業に満足している	33.4	42.2	18.7	3.5	2.2

### 総合的満足度 (設問 II-8)



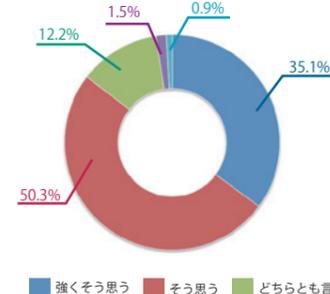
### 選択項目 III

項目	回答人数
授業の開始・終了の時刻を守ってほしい	153
学生のおしゃべりなど迷惑な行為をやめさせてほしい	443
もっと理解しやすい教科書や資料を使ってほしい	525
もっといいねいに板書をしてほしい	526
もっと分かりやすく説明してほしい	753

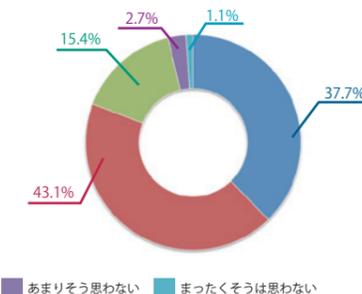
### 選択項目 III

項目	回答人数
成績評価の基準をより明確にしてほしい	386
学期中の授業スケジュールをもっと明確にしてほしい	209
質問や相談にもっといいねいに対応してほしい	171
より適切な広さの教室を用意してほしい	250
パソコンなどの機器をもっと整備してほしい	233

### オリエンテーション等で 授業内容を正しく伝えていたか (設問 II-1)



### 教員の熱意を感じたか (設問 II-4)



# 学生スタッフ募集

## 広報冊子作成スタッフ(企画室) 『WAKO CIRCLE』をつくり編集の腕をみがく



毎年発行している広報冊子の作成をしていただける方を募集します。

### 特徴

- この冊子『WAKO CIRCLE』は学生スタッフとともに作成しています。企画、取材・執筆、撮影、レイアウトなど、編集作業に興味のある学生をお待ちしています。謝礼あり。

申込・問い合わせ 企画室 (A棟1階) まで

## オープンキャンパススタッフ(入試広報室)



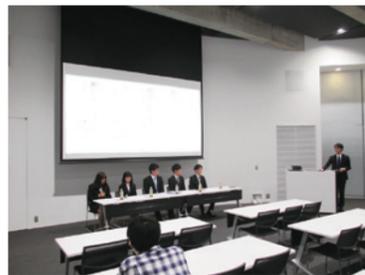
たくさんの受験生、保護者の方が来場するオープンキャンパスで、受付や案内、キャンパスツアーなどを担当する学生スタッフを募集します。元気で責任感のある方や人と話すのが好きな方、歓迎です！アルバイト登録制。4月中旬から受付開始予定。

### 特徴

- 和光大学のおもしろさや学び方を受験生に伝えることができます。
- オープンキャンパス前には、スタッフミーティングや研修会を実施。初めての方でも自信を持って当日を迎えられます。
- 研修や勤務を通じて、他の学生スタッフと繋がりが出来るので、人間関係が広がります。

申込・問い合わせ 入試広報室 (A棟1階) まで

## 学生キャリアアドバイザー(キャリア支援室) 内定を取った経験を活かし、3年次の就活をバックアップ



内定を獲得した卒業年次生を対象に「学生キャリアアドバイザー」を募集しています。キャリア支援行事のお手伝いなど、後輩の就職活動をバックアップしてもらいます。登録制。

### 特徴

- 「自分の経験なんて役に立たないのでは」「大企業に入った経験でなければ相手にされないのでは」そんなことはありません。自分の失敗や苦労を後輩のために活かしたい！という方をお待ちしています。

申込・問い合わせ キャリア支援室 (A棟3階) まで

## 情報保障団(学生支援室) 情報保障団として、障がい学生のサポート



入学登録や学科オリエンテーションなどでの、要約筆記(パソコンテイク)を行う「情報保障団」メンバーを募集しています。

### 特徴

- 定期的に練習会を開催しますので、パソコンテイクが初めてという方も大歓迎です(謝礼あり)。

申込・問い合わせ 学生支援室(A棟3階)まで

## Let's Read Project・対面朗読 朗読者 (図書・情報館)

### Let's Read Project

図書・情報館で、本にまつわる企画にたずさわる

読書や本にまつわる企画・イベントを計画・実行する「Let's Read Project」のメンバーを募集しています。「選書ツアー」の開催や館内の常設コーナーでのテーマ別企画本棚の公開、ビブリオバトルの開催など、新たなアイデアも続々登場しています。

### 特徴

- 学年も所属学科も多様な学生が集まっているので、館内に設けられたLRPルームでは、本やマンガなど、いろいろなジャンルの話題で交流できます。
- フリーペーパー「Counter」の発行やポスター制作などを通じて、表現のスキルを身につけることができます。

### 学生メンバーからの声

選書ツアーに参加したり、館内の本をセレクトして本棚を作ったりするなかで、自分が知らなかった本の世界を知るおもしろさ、自分が紹介した本を読んでもらえる楽しさを体験できました。



申込・問い合わせ 図書・情報館 (3階レファレンスカウンター) まで

### 対面朗読 朗読者

視覚障がい学生の図書・情報館利用をサポートする



1年間(または半期)、授業の空きコマに視覚障がいのある学生とペアを組み、本やプリントの代読、資料探しのお手伝いなど、図書・情報館利用のサポートをする学生を募集しています。週1コマ。年2回朗読料を支給しています。

### 特徴

- 年度初めに募集し、授業の空き時間をもとに調整します。
- 図書・情報館の仕事や調べものに関心のある方、人の役に立ちたい、視野を広げたいという方をお待ちしています。

## ノートテイク(学生支援室) ノートテイクとして、障がい学生の授業をサポート



申込・問い合わせ 学生支援室(A棟3階)まで

授業中、聴覚障がい学生や肢体不自由学生の隣に座り、音情報を書き留めるノートテイク者を募集しています。現在約50名の学生がノートテイク者として活躍中です。科目数に応じた謝礼あり。

### 特徴

- 日常のノートテイクや交流会などを通じて、障がい学生、他のノートテイク者との繋がりができ、友人も増えます。
- ノートを取る力や話を要約する力が身につくと、自分の勉強や就職活動に役立ちます。
- 初めての人でも安心して取り組めるように、基礎技術の講習会を実施しています。
- 人の役に立つのが好きな方、大学に入って新しいことに挑戦してみたい方、パソコン入力が得意な方、ぜひ応募してください。

# Campus Information

事務局からのお知らせ

## 事業室 A棟3階

●通勤・通学時のマナーについて  
やむを得ず自動車を利用しなければならぬ方以外に駐車スペースを確保することはできません。徒歩・スクールバスでの通学・通勤をお願いいたします。

また、道いつばいに広がって歩く、たばこのポイ捨て、夜間の大声での談笑など地域住民の方から苦情が届いています。思いやる心を持って通行するよう心掛けてください。

## 教学支援室 A棟2階

●単位修得簿交付(2年生以上)  
4月6日(木)、7日(金)、8日(土)の学科別の学年指定オリエンテーション会場で交付します。学生証持参の上、必ず出席してください。詳細は、各学科の掲示板または大学ホームページで確認してください。

●授業アンケートについて  
16年度に実施した授業アンケート結果をホームページで公表しています。

●オープン・カレッジばいであのご案内  
どなたでも受講できる市民講座です。本学在生は受講料が5分の1になります。企画係までお問い合わせください。

## 図書・情報館 図書館部門

●図書・情報館の利用について  
学習・研究をサポートするため、図書館と情報センター機能を複合的に提供しています。入館および貸出、施設利用には学生証が必要です。必ず持参してください。

●スキルアップ講習会のご案内  
基礎から応用ガイダンスまで、「スキルアップ」するための講習会を行っています。参加数に応じて、オリジナルグッズがもらえる、好評のポイントラリーも実施します。

●和光ポータルでの履修登録になります  
今年度から和光ポータル(Webシステム)を用いた授業の履修登録となります。和光大学アカウントが必要となるので、自分のユーザー名とパスワードの確認をしておいてください。「和光ポータル」の使い方はマニュアルを用意しています。

●履修相談  
学修計画や「和光ポータル」での履修登録のことなど、教学支援室で相談に応じています。履修登録単位数の上限などは、「学修の手びき」をよく読んで確認してください。

●前期授業開始  
前期(大学院は春 semester)の授業開始は4月10日(月)です。

## 学生支援室 A棟3階

●学生用ロッカーについて  
貸与期間は18年1月末まで、利用料は年間千円です。応募者多数の場合は抽選をします。利用申込の受付は、学生支援室です。

●セミナーハウスの利用について  
和光大学セミナーハウス「鶴舞青年の家」を、サークルやゼミの合宿で利用できます。体育館、テニスコート、グラウンドもあり、パーキングもできます。利用の際には1か月前

●Let's Read Projectの報告書を配布中  
学生が主体となり、本にまつわる様々なイベントや活動を企画・実行する「Let's Read Project」16年度の活動をまとめた冊子を配布しています。どうぞご覧ください。

## 図書・情報館 情報部門

●和光大学アカウントの発行について  
学内のコンピュータや無線LANを利用する際には「和光大学アカウント」(ユーザー名とパスワード)が必要です。新入生には学生証と同時に配付されます。

自分の和光大学アカウントがわからなくなってしまう場合には、メディアサロンにて再発行の手続きを行ってください。

●メディア室の自習利用時間について  
メディア室の自習利用時間は以下のとおりです。どうぞご利用ください。  
・通常授業期間(5月のGW明け以降)  
平日9時~17時50分(最終受付17時20分)

までに手続きを行ってください。  
・利用可能期間 4月、7~9月、2月  
●学生相談センター  
【TEL】044-949-0004  
月~金の週5日、カウンセラーが相談に応じています(1コマ45分、予約制)。予約や詳細についてはG棟学生相談センターまでお問い合わせください。

## 医務室 G棟1階

●健康診断と再検査等について  
健康診断(在学生)は、4月6日(木)、7日(金)、8日(土)に行います。健康診断で、再検査や校医面談を指示された方は、お伝えした実施日時に必ず医務室に来てください。

●健康診断証明書について  
大学で健康診断を受け、かつ再検査等指示をすべて済ませた方のみ、5月中旬から自動発行機で発行ができます。ホームページや掲示板などで発行開始日を案内する予定です。詳しくは医務室までお問い合わせください。

●感染症への注意と予防  
37度5分以上の発熱や体調不良時は、何らかの感染症にかかっている場合もありますので、登校前に受診するなどの対応と普段の予防をお願いいたします。

## 和光大学同窓会

・集中講義・補習講義期間・試験期間  
平日9時~16時50分(最終受付16時20分)  
●同窓会運営メンバー募集中  
同窓会の活動を楽しく、意味のあるものにするためにぜひともお力をお貸ください。現役生も歓迎します!  
第4回和光大学同窓会作品展「おかがみ」実行委員/地方支部幹事(山梨・北海道等)/同窓会誌寄稿者(近況報告、イラスト、漫画等) 詳細はHPをご覧ください。 FAXにてお問い合わせください。 Eメール: dousoukai@wako.ac.jp FAX: 044-949-0008

## キャリア支援室 A棟3階

●4年生の皆さん  
キャリア支援室には企業から寄せられた求人票があります。将来の可能性を広げて就職活動に挑戦してください。履歴書のチェックや面接の練習も受け付けています。

●3年生の皆さん  
各企業は3年生向けにインターンシップを実施しています。社会人と接する貴重なチャンスです。自分の興味のある企業・団体で積極的に経験しましょう。キャリア支援室にて、各企業から届く案内を見ることが出来ます。

●保証人の皆さま  
学年に関係なく、進路決定のサポートをキャリア支援室で行っております。就職活動など進路について学生本人が迷っている際は、足を運ぶようにお声掛けください。

## 企画室 A棟1階

●学生研究助成金の募集  
学生・専攻科生で学術研究等に顕著な成績を上げられると思われる個人またはグループを対象に、学生研究助成金を支給します。  
・給付額 1件5万円以内  
\*場合により増額あり。ただし10万円を超えないものとする。  
・受付期間 5月1日(月)~31日(水)

## 奨学金制度

●輝け! 未来の和光ダイアモンド  
和光大学成績優秀者奨学金  
【対象】 2~4年次生  
【給付額】 42万5千円(後期分授業料)  
【採用人数】 上限8名  
【申請時期】 4月中旬~4月下旬  
【選考基準】 学力基準  
●輝け! 未来の和光ファイア  
和光大学成績優秀者奨学金  
【対象】 2~4年次生  
【給付額】 42万5千円(後期分授業料)  
【採用人数】 上限70名  
【申請時期】 6月上旬~6月下旬  
【選考基準】 学力基準および家計基準

●日本学生支援機構奨学金  
日本学生支援機構奨学金の貸与を新たに希望する方は、申請説明会を開催しますので、左記のうち、どちらかの説明会に必ず出席してください。(※内容はどちらも同じです。)  
【日時】

①4月6日(木) 12時20分~  
②4月7日(金) 12時20分~  
【場所】E棟101教室  
※高校在学時に日本学生支援機構奨学生採用候補者に決定した方は出席する必要はありません。

●私費外国人留学生を対象とした奨学金  
私費外国人留学生対象の説明会を開催します。  
【日時】 4月12日(水) 12時15分~12時55分  
【場所】A棟4階第2会議室

## CampusCalendar

4 April	
4(火)	新入生健康診断
5(水)	入学登録 父母懇談会
6(木)	学科別オリエンテーション(※) 在学生健康診断 日本学生支援機構奨学金申請説明会① 東京工芸大学単位互換オリエンテーション① 資格課程オリエンテーション(※)
7(金)	学科別オリエンテーション(※) 在学生健康診断 日本学生支援機構奨学金説明会② 短期語学留学オリエンテーション 資格課程オリエンテーション(※)
8(土)	学科別オリエンテーション(※) 在学生健康診断 東京工芸大学単位互換オリエンテーション② 再入学生オリエンテーション 編入生・転入生オリエンテーション 資格課程オリエンテーション(※)
10(月)	前期授業開始
19(水)	履修登録 (~4月22日まで)
5 May	
1(月)	学生研究助成金の募集受付 (~5月31日まで)

(※) 詳細は、オリエンテーション日程表を確認してください。

新任教員の紹介(17・4・1付)

①最終学歴  
②主な経歴  
③専攻分野  
④趣味・特技

退職される教員の紹介(17・3・31付)

◆心理教育学科

一瀬 早百合 (いちせ・さゆり)



- ①日本女子大学大学院人間社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了
- ②横浜市リハビリテーション事業団ソーシャルワーカー、田園調布学園大学こども未来学部准教授
- ③社会福祉学(ソーシャルワーク実践、児童家庭福祉)
- ④華道古流師範、庭園鑑賞、茶道

◆心理教育学科

富樫 千紘 (とがし・ちひろ)



- ①名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻博士課程後期課程満期退学
- ②愛知文教女子短期大学・愛知教育大学・稚内北星学園大学非常勤講師、稚内大谷高等学校時間講師
- ③教育経営学、学校づくり研究
- ④読書、映画鑑賞

◆心理教育学科

坂井 敬子 (さかい・けいこ)



- ①中央大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程修了
- ②静岡大学大学院教育センター准教授
- ③キャリア心理学、産業・組織心理学
- ④映画鑑賞、スキー

◆経済学科

日臺 健雄 (ひだい・たけお)



- ①東京大学大学院経済学研究科経済史専攻博士課程単位取得
- ②在ロシア連邦(モスクワ) 日本国大使館専門調査員、埼玉学園大学准教授、北海道大学客員准教授
- ③ソ連経済史、現代ロシア政治経済
- ④鉄道旅行、街歩き

# MY CHOICE vol.24

## スポーツを知り、スポーツを考える

### 1、体育ではメジャーなスポーツばかり

オリンピックなどで実施されるのは、「スポーツ」の一部に過ぎない。世界にはその土地独自に発展しているスポーツや、新しいスポーツが数多く存在する。体育の授業ではメジャーなスポーツだけを取り上げがちだが、制野先生はそこに疑問を持ったようだ。体育の授業においては、生徒間に力の差が生まれてくる。できない生徒が楽しめない授業になってしまいがちだ。先生はだからこそもっと多くのスポーツを知り、様々なルールの可能性を考えていく必要があるのだと語ってくれた。

### 2、大迫力の町中フットボール

世界各地で伝統的に楽しんでいる「マージナルスポーツ」を現地で観戦することが好きだと言う制野先生に、刺激的なスポーツを紹介していただいた。それはイギリスの北の島・カークウォールで行われる“Ba”(“バ”)という競技だ。これは町全体を使った壮大なフットボールで、参加者は海側と山側に分かれ、一つのボールを奪い合う。海側のチームはボールを持って海へ飛び込めば、山側のチームは斜面に面したある家の壁にボールを触れさせればゴールとなる。このゲームの特徴はなんといってもその迫力だろう。ボールの周りには、幾百の男達が群がり押し合う。失神をする人は後を絶たないので救急車は常に待機しているようだ。先生が観戦した際は7時間かかったそうだが、過去には数日間も続いたという記録も残っている。

その土地に根差していて現地でしか見られない、そんなスポーツに制野先生は輝きを見たと話してくれた。

### 3、スポーツを楽しむ

先生は、年齢、性別、障がい問わず多くの人が一緒にスポーツを楽しんでほしいと考えている。世界中に面白いスポーツは数多くある。視野を広げて、既存のルールに縛られることなく柔軟に考えてスポーツに取り組んでもらえるようにすることで、スポーツの可能性を広げていきたい。そんな風に思い、日々活動をしているという。

(文=群馬)



現代人間学部 身体環境共生学科准教授

せい の としひろ

制野 俊弘

専攻分野：体育科教育学

制野俊弘先生は、主に体育教員を目指す学生に授業を行っている。教材作りや模擬授業などを通し、またご自身がこれまで現場で培った経験を生かして学生を育てているとのことだ。体育教師を志す学生に対し「スポーツを教えることだけでなく、スポーツを考える教員になってもらいたい」という想いを抱く先生に今回お話を伺った。



## STAF MEMBERS

群馬 叶恵	総合文化学科	13T	取材執筆	星野 史織	芸術学科	14G	レイアウト
高木 郁彦	心理教育学科	15P	取材執筆	松本 美吹	芸術学科	15G	レイアウト
村竹 陽太	現代社会学科	13U	取材執筆	吉田 菜々子	芸術学科	15G	レイアウト
藤巻 瞬	芸術学科	15G	撮影				



●表現学部教授  
山本ひろ子(やまもと・ひろこ)  
1999年に着任。専攻は、日本思想史。「近代日本の課題」や「宗教思想論」などの科目を担当。祭礼・信仰・芸能を通して、日本文化の豊かさ・深さを講義する一方、差別・聖と賤など、アクチュアルな思想課題も扱う。テキストに向き合い、言葉と格闘する面白さを学生たちにも体感してもらうため、原典講読を積極的に取り入れてきた。学内委員として、大学開放センター員、総合文化研究所委員、表現学部紀要委員などを務める。  
著作に『島の想像力―神話・民俗・社会』(共編)など。研究室OBが立ち上げた私塾「成城寺小屋講座」の顧問・講師として、学外における文化運動も展開している。



# OUR NEIGHBORS

Vol.20

～ 隣人探訪 ～

麻生市民館・岡上分館 こばやし たくみ 小林 巧さん

今回紹介するのは、川崎市麻生市民館岡上分館(以後、岡上分館)で働く小林巧さんだ。

岡上分館は鶴川駅南口徒歩7分ほどにある川崎市の施設である。地域住民が、勉強会やサークル活動等で気軽に使える場所としての機能と、様々な市民講座が開講される市民の学びの場としての機能がある。小林さんは、地域の方々が岡上分館を快適に活用いただけるよう施設の管理や利用者への案内を行ったり、市民講座の運営、さらには地域の方からの提案を基に協同で新しい講座を企画したりしている。

岡上分館は、地域住民の交流拠点としての役割もある。例えば、「おかがみで楽しく!ともそだち」という講座がある。これは普段子育てによって自分の時間が取れない母親に対し、子どもを預けながら自分もリフレッシュしたり子育てについて学んだりすることができる講座である。そこで出会った母親同士が、自分達で新しいサークルを作り、つながりを広げている。このように岡上分館が地域の拠点となり、住民同士の交流の輪が広がっていくような取り組みが生まれることに小林さんはやりがいを感じるとのことだ。

また、より地域に役立つ岡上分館であるために利用者とのコミュニケーションを大切にしているとのこと。自由な雰囲気です話をする中で、岡上分館の運営や講座に対する要望を積極的に聞き取り、新しい取り組みにつなげているのだ。

実は、小林さんは和光大学の卒業生である。しかも若い時に和光大学で学び諸事情があり途中で辞め、社会人を長く

経験した後、再び学びたい気持ちが強くなり仕事を辞めて和光大学に入り直している。

2度目の学生時代では、社会教育を学んでいく中で、フィールドワークとして岡上地域と関わり、そのつながりによって卒業後岡上分館で働くことになったそうだ。小林さんは在学中、岡上分館と協力して企画した「板で作ろう!岡上リアルフェイスブック」の実行委員を務め、2013年10月に地域交流掲示板「かわせみ通信」が完成した。

リアルフェイスブックの目的は、地域住民と和光大生がネットではなくリアルなつながりを作ることである。掲示板の設置に際しては、場所の提供や、地元の大工さんに指導していただいたり、地域の方々からさまざまなサポートを受けた。地域とのつながりを広げるための活動を通してその重要性を実感し、その後も取り組みを続けているのだ。

小林さんは現在、和光大生にもっと地域と関わり持つてほしいと思っている。それが地域貢献だけではなく、自分自身の視野を広げることにつながるからだ。岡上分館では老若男女さまざまな人が参加する活動が行われている。そこでは地域の方々となつなげるきっかけを作ることができる。また、生涯学習や地域連携といったテーマに実践的に取り組んできた小林さんと話をするだけでも学ぶことは多い。

岡上分館を時間が空いたときの居場所にもしてほしいということなので、皆さんも気軽に訪れてみてはいかがだろうか。

(取材=高木)